



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2009～2010年度 RIのテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

会長 大作 茂 幹事 篠原達幸

第2034回例会 (2010年6月15日)

点鐘 大作会長

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

お客様紹介

第6グループガバナー補佐 染谷英壽様

会長挨拶 大作会長

皆さんこんにちは。染谷様ようこそ！

染谷ガバナー補佐には一年間大変お世話になり、ありがとうございました。

会員の皆さん(奥様方も含めて10名)はいよいよ明日からカナダのモントリオールで開催される国際大会に行かれます。くれぐれも気を付けて行って来てください。そして、最終のバス旅行の中で思い出話などを聞かせていただけたらと思います。

私は今日は大変嬉しい気分です。その理由の一つは「はやぶさ」が7年間、60億キロの旅を終えて無事に帰ってきたということです。もう一つはサッカーのワールドカップに出場し、初戦をカメルーンと戦った日本が勝利したということです。「どうせ勝てないだろう?!」と思っていた方も多いたと思いますが、日本人は褒められるとダメなんですね。あまり期待されないほうが良かったのかもしれませんが、どちらにしても久々に嬉しいニュースで、日本人の潜在能力というものが発揮できた例だと思います。日本人はコツコツと冷静にやっていけばきっと良い結果が出せますので、いろいろな分野でこれからも頑張っ

幹事報告

篠原幹事

- ① 新世代部門セミナーのご案内
日 時 2010年7月24日(土)13:00～
会 場 埼玉県勤労者福祉センター
登録料 1人 5,000円
- ② ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) パート1のご案内
日 時 2010年7月25日(日)9:30～
場 所 越谷市中央市民会館
費 用 1人 4,000円
- ③ 次年度ロータリー財団部門職業研修チーム小委員会より「職業研修チーム派遣」募集の案内がきております。
- ④ 「ロータリーの森」植樹に際してのご協力に対するお礼がきております。
- ⑤ 「友」インターネット速報 No. 431 が届いております。

ご挨拶

染谷英壽様



本日は一年間お世話になった御礼に参りました。今週の日・月と第6グループの打ち上げ旅行

に行って来ました。さぞかし大作会長はお疲れだろうと思っていたら、元気で、しかも最新のニュースを会長挨拶ですという素晴らしさ

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

に感心いたしました。二次会のカラオケで大作会長の「リバーサイドホテル」を聞きましたがとても上手で、会話も楽しく、本当に一年間楽しくやらせていただきました。

昨年の今頃はドキドキしていましたが、杉戸の公式訪問が終る頃から落ち着いてきました。一年間、今になるとあつという間だったような気がします。GSEの受入れでは篠原幹事さんにお世話になりました。また、IMの北村薫さんの講演では質問形式でやりたいとのことで、司会者の山崎さんがいろいろと勉強をしてくれて、こちらは無事に終わりました。正直言って大作会長が質問に手を挙げた時はハラハラしましたが、とても良い質問でほっとしました。その他にグループゴルフでも大変お世話になり、すべての行事が終わり、やっと秒読みの段階に入ったので今はリラックスしています。

本当に一年間ありがとうございました。

《細則の一部変更の承認》

第7条 第1節 入会金

改正前 → 入会金は5万円とし

改正後 → 入会金は3万円とし

卓話

渡辺二郎会員



一凸版印刷の由来について

私は、4月に杉戸の研究所に戻ってきました。幸手団地に単身の居をかまえております。こちらに戻ってきて実行したことがあります。ジョギングです。ジョギングは有酸素運動の代表的な運動です。運動の強さを増していくと、ある限度を超えると、肺から取り込んだ酸素の供給だけでは追いつかなくなり、無酸素でエネルギーを作る状態へと変わります。すなわち無酸素運動状態に入ります。短距離全力疾走が代表的

な運動です。心臓に負担がかかるので好ましくありません。有酸素運動は、自分の能力の5割程度であり、心肺の機能が強化され、末梢の血液循環が改善されます。すなわち、体脂肪を効果的に燃焼させダイエットに最適です。高血圧、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病の予防にも効果的といわれています。また、ストレスの解消に役立ち、心身をリフレッシュさせる効果があるといわれています。脂肪が燃焼をはじめるのは20分以上といわれています。ジョギング40分以上で300Kカロリーのエネルギーが消費されます。ウォーキングだと60分(1万歩)、散歩だと110分ぐらいです。300Kカロリーというご飯2.5杯、日本酒3合とおなじです。わたくしの目標は45分以上/1日ジョギングすることです。4月の中旬に引っ越してきて、ほぼ毎日ジョギングをしております。本格的に取り組んだのは連休明けです。連休明けですと、田植えです。稲苗を植えるため硬くなっている土を地ならし、硬くなった土に水がかかり代掻きをして、田植えの準備が終了すると田植えです。5月の中旬から一斉に田植えが始まりました。3週間ぐらいで田植えが終了し、稲はすくすくと成長しています。1週間の間隔で稲の成長がわかります。ですので、あの田圃はこちらより2週間遅く田植えをしたとわかります。稲の生長を見守って、9月の刈り入れまで見届けようと思っています。

では、本日の卓話に入ります。題は、『凸版印刷の社名の由来』についてです。当社の会社概要は、資本金1000億円、連結売上1兆5000億円、従業員は約5万人です。1900年に創業して、今年で110周年を迎えました。何故社名が凸版印刷なのかという由来について、創業時の時代背景を踏まえてこれから話します。

1876(明治9)年から1899(明治32)年にかけて(新しいタイプの普通切手が登場するまでの23年間にわたり発行された30種類の普通切手のことを、切手収集家は「小判切手」と呼んでいます。小判のように高額であるからこう呼ばれているわけではありません。この切手のデザインの中央部分に、すなわち長方形の枠の中

に楕円形が組み込まれた精巧なデザインが小判に似ているので、小判形切手と称されるようになったようです。「小判切手」以前の日本切手は、切手の印刷原版を一枚一枚、職人が手で掘って作っていました。銅版画のような味わいはあるが、大量生産には向かない、手工芸品のようなものでした。その当時の日本は、すなわち、明治政府は西洋に追いつけとばかりの、富国強兵・殖産興業策をとっていました。明治政府は、さまざまな教育・産業の分野で、西洋の近代的な技術を早く学び、手に入れようと、ヨーロッパやアメリカから技術者を招き入れました。殖産興業政策の一環として、紙幣および切手製造においても、印刷産業の先進国ドイツの印刷会社から、この会社に勤めていたイタリア人のエドアルド・キヨソーネ(1833-98)が、指導者として招かれました。彼の指導により、ヨーロッパの精密な印刷方式のエルヘート凸版法(電鋳法を利用して精巧な細紋用凸版を作る方法)による「小判切手」が誕生したのです。

また、紙幣や公債など、偽造が難しい証券類の発行を急いでいた明治政府の要請に、キヨソーネは最新技術であるエルヘート凸版法を取り入れて、日本の紙幣の原型を作りました。『日本紙幣の父』と呼ばれています。1891年、大蔵省印刷局を退官すると、彼を追って辞職した弟子の技師二人と共に、(キヨソーネが伝えた)エルヘート凸版法という、当時のハイテク技術で一旗あげました。所謂今風に言えば、大蔵省印刷局をスピリアウトし、ベンチャー企業を立ち上げたのです。1900年に、現在の台東区台東に誕生したこの会社が弊社であり、凸版印刷と言う社名の由来です。煙草の包み紙と化粧水のラベルを印刷した、と同年の記録に残されています。

当社は、今年、110周年を迎えました。新社長である金子代表取締役社長が抱負を語られました。社会構造の変化とトッパンがこれまで培ってきたビジネスモデルの限界について説かれ、「変革と挑戦」の意志を持って自分自身を変え、回りを換え、会社を変えていかなければならないこと。そして、「トッパンが100年以上に渡って培ってきた印刷テクノロジーをベースに事

業展開させて、大きく発展させていこう。私たちが行う事業そのものが、社会から認められ、社会貢献となる喜び、幸せを感じられる企業グループにしていこう」と決意を述べられました。社会的貢献とは、すなわち企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)です、企業が地球環境や社会と自社の両方が将来に渡って発展を続けられるように、自主的に取り組む活動であり、法令の遵守・消費者の保護・環境の保全・人権の尊重・地域への貢献などを積極的に活動していくことです。すなわち、これらのことを実現していくことが当社の将来に向けた企業像なのです。

卓話

下津谷会員



《日本の旅と旅行業界の現状》

文春の特集号「もう一度日本を旅する」という雑誌の中で永六輔さんは旅を英語では「トリップ」「ツアー」「トラベル」「ジャーニー」と4つの種類に分類。「トリップ」は気分転換になる小旅行のこと。だから家の周りをのんびり歩くのもトリップ。「ツアー」は目的地に向かって出かける団体旅行。「トラベル」は出発から帰宅までの行程が決まっているもの。そして「ジャーニー」は予定も決めず、気の向くまま自由に出かける旅。「人との出会い」を最も大切にする永さんは「ジャーニー」が好きとのこと。

椎名誠さんはC. W. ニコルさんの話を紹介「日本は素晴らしい国ですよ。北海道の冬には流氷がやってくる。同じ時期に沖縄には珊瑚礁があつてうみんちゅが潜っていたりする。ひとつの国でそんな両極の自然を同時に持っているところなんて世界中探してもどこにもないよ」と。

日本には四季がある。いい水がいたるところ

から出てくる。日本の公衆便所は世界で一番。道路の安全というのも日本を旅する外国人がまさきに驚く。道に穴が開いたまま放置されていることはない。山賊が出てくることもなく、山犬の群れに遭うこともない。南米で旅するとき出会うのが一番怖いのが、何を考えているかわからない人間で、その次が山犬だ。日本はものすごい田舎でも集落がところどころあり、小さくても食べ物屋がある。都市では夜中に酔って歩いても襲われることはまずない。これもきわめて特殊な「安全環境」なのだ。そして椎名さんが今、したい事は、遍路のように自分の足で時間の許すかぎり歩いていく旅。永さんと共通している我が中高年族の憧れと言えましょう。

さて、旅行業界の今おかれている環境は厳しいものがあります。業界のマンモスJTBの22年3月期決算は、営業損33億円最終損145億円と過去最悪。2期連続赤字です。景気低迷・新型インフルエンザ等での需要の大幅落ち込みなどが原因となります。またHISは半期の営業利益43%減、原因としてアジア向けの低価格の旅行商品に需要が偏り、平均単価が低迷したことが響いたとのことです。

不況も3つの点で当社にはプラス材料がありました。

まず、このままでは会社が立ち行かなくなるとの思いが私を初心に帰しました。私は40代からごく最近まで現場の仕事は全くとっていいほどしてなかった。よくここまで持ちこたえたものと、むしろ不思議に思うやらあきれんやら。前年度は一昨年の一マンショックと重なるように発生した新型インフルエンザにより、大幅な赤字を出してしまいました。今、私は一週間のうち火曜日を除く4日間を営業日にあて北関東一円を飛び回っています。一年余続けてまいりましたが、成果もあがり6月決算の今期はどうやら経常黒字が達成できそうです。こんな状態ですので、当社で仕事をさせて頂きながら国際大会に参加できず大変申し訳なく思っています。

2つ目は、社員のやる気が目に見えて向上し

てきたことです。先日、田中さんの会社の二十周年記念旅行に入社満2年の社員を添乗させて頂いたところ、田中さんから大変ほめられました。つい昨日までひよこだった子かと思うと嬉しい気持ちでいっぱいです。早速、翌日の朝礼で報告するよう彼の上司に伝えました。何せ私は、朝7時には事務所を出てしまいますので、話せるのは翌週火曜日になってしまいます。

3つ目は同業者が減ってくることで相対的に有利になります。JTBの200店舗減少計画を始め、大手業者の店舗縮小や社会構造の変化によって甚大な影響を受けている小規模経営の同業者の中には当社の傘下に入る者もあり。また温泉祭り等の当社独自のツアーを手伝う同業者も増えてきています。

今は、役職員48名、誰もがなんとか立ち上がろうと一生懸命です。私も30代に戻った気持ちで、これからも仕事に精を出していこうと思います。

出席報告

井上会員

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
6/15	25	14	11	6	80%

スマイル報告

井上会員

染谷様・・・杉戸RCの皆様のご指導、ご支援のお蔭様で、ガバナー補佐の役を果たすことができました。一年間ありがとうございました。関口会員・・・染谷G補佐、一年間ご苦勞様でした。明日からモントリオール世界大会へ行ってきます。

仁部会員・・・どこまで頑張れるか日本のサッカー！応援しましょう！！ガバナー補佐、ご苦勞様でした。

下津谷会員・・・つたない卓話で申し訳ありません。国際大会参加の皆さんお気を付けて！

田中会員・・・下津谷会員、渡辺二郎会員、卓話ありがとうございました。染谷ガバナー補佐、ご苦勞様でした。

以下同文・・・会員全員

本日投入額	20,000円
累計額	800,000円